

<問題のねらいと学校での学習指導>

この問題は、速さの意味について理解しているかどうかをみる問題です。本校では1/3の児童が正しい答えを導いていました。分速400mという誤答が多かったため、速さを足してしまう児童が多かったと考えられます。問題文から道のりが1000m、時間は5分間ということに気づくことができれば答えを求めることができます。速さは道のりと時間の二つの量の関係で表されるということや単位量あたりの大きさの考え方を理解することができるよう学習指導を行います。

桜の開花予想日の求め方

- ① 2月1日から、毎日の最高気温の数値をたしていく。
- ② 毎日の最高気温の数値をたした答えが、初めて600以上になったその日を桜の開花予想日とする。



こうた

今日は3月16日です。桜はまだ開花していません。

桜の開花予想日の求め方の①のように計算すると、3月15日までの最高気温の数値をたした答えは549でした。

3月16日からの最高気温の予報は、下の表のとおりです。

3月16日から3月19日までの最高気温の予報

日にち	3月16日	3月17日	3月18日	3月19日
最高気温(度)	21	20	15	14

<問題>

こうたさんは、3月16日以降は予報どおりの最高気温になるとして、桜の開花予想日の求め方を使って、桜の開花予想日を求めました。桜の開花予想日について、次のようにまとめることができます。

最高気温の数値をたしていった答えが、初めて600以上になる式は、 $\square \text{ウ}$ だから、桜の開花予想日は3月 $\square \text{エ}$ 日です。

上の□に入る式を、下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、上の□に入る数を書きましょう。

- 1 $549+21$
- 2 $549+21+20$
- 3 $549+21+20+15$
- 4 $549+21+20+15+14$

正答 ウ→3 (549+21+20+15) エ→18

<問題のねらいと学校での学習指導>

この問題は、示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるのがいつなのかを判断できるかどうかをみる問題です。全国の正答率はおよそ半数なのに対し、本校児童の正答率は4割となりました。

ウが2 (549+21+20) でエが17という誤答が多くありました。「初めて600以上になったその日を桜の開花予想日とする」という条件を適切に捉えることができていなかったものと思われます。問題文を読んで、表から必要な情報を見つけ、処理し、判断するというカに課題があります。

集めたデータを数値化し、グラフや表に整理しながら特徴や傾向を捉える学習活動を行います。

◆文京台小学校の授業づくり

【国語】

●「話すこと・聞くこと」、「読むこと」の向上

- ・国語を出発点として、様々な場面で話し合いや発表を行う際、目的や意図、聞き手の状況に合わせて、集めた資料を分類、選択し、伝える内容を整理する活動を大切にする。
- ・理由を表す言葉など読むときのポイントを意識して読む習慣をつける。

●言葉の使い方や特徴の理解

- ・主語を意識して文章を読むことを低学年から繰り返し指導する。

●「書く力」の向上

- ・事実と感想、意見とを区別して書く活動を大切にする。
- ・文章を書く目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にし、客観的な事実を根拠として取り上げて書く。その際、自分が取り上げた事実が根拠としてふさわしいかどうかを振り返る学習活動を行う。
- ・作文などの文章を書いた後、自分で読み直して、主語が抜けていないか、文のつながりは正しいか、書き言葉になっているかなどをチェックする習慣をつける。